

「第9回おでかけ交通博 2024 in つるおか」を開催しました！

令和6年10月4日（金）に東京第一ホテル鶴岡において「第9回おでかけ交通博 2024 in つるおか」を開催しました。（共催：（公）交通エコロジー・モビリティ財団、鶴岡市 協力：福島大学）

「おでかけ交通博」は、主に地方公共団体の交通担当者や交通事業者等を対象として、喫緊の課題である地域の「おでかけの足」について考えるきっかけとするべく、福島大学の協力を得て、平成27年より開始し、これまで8回、東北各地で開催してきました。新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、オンライン形式の特別版として開催した時期もありましたが、今年も盛岡に続き対面集合形式で開催することができ、総勢178名の参加となりました。

午前中は「トークセッション with 東北仕事人」と称し、開催地域の交通やまちづくりに携わる方々と、東北各地の公共交通に携わる有識者である「地域公共交通東北仕事人」（以下、「東北仕事人」）にご登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。東北仕事人でもある福島大学・吉田樹准教授にコーディネーターを務めていただき、パネリストとしては、地元の自治体の鶴岡市、庄内交通、山形県、お隣の県からは会津バスにご登壇いただきました。

各登壇者からは、「ポストコロナの『おでかけ復興』」をテーマに、自治体・事業者連携による市内循環線の再編・利用促進、データの利活用、観光需要と生活需要を両立した循環バスの運行など、登壇者間での議論をいただきました。



【トークセッションの様子】

午後には、東北各地の自治体や交通事業者などの計24団体に出展いただき、ポスターセッションを実施しました。各団体から1分間で取組をPRしていただき、その後、取組をまとめたポスターや資料により、それぞれの取組について説明いただきました。参加者は興味関心のある団体の取組について、担当者より詳細を伺いながら意見交換を行いました。



【1 ミニッツPR・ポスターセッションの様子】

翌日5日（土）にはエクスカージョンを開催しました。参加者を9つのグループに分け、「荘内神社」、旧風間家住宅「丙申堂」、「釈迦堂」等を鶴岡市内循環バスと路線バスを利用しながら見学し、鶴岡市内の「おでかけ」を体験していただきました。



【荘内神社】



【荘内神社】



【鶴岡市内循環バス】



【釈迦堂】

大変多くの方にご参加いただき、盛況となりました。また、参加者の皆様から、「大変有意義だった」「参考になる事例紹介がたくさんあった」など、多数の満足の声をいただいております。東北運輸局においては、今後もこのような機会を通じて、地域の「おでかけの足」の確保・維持・活性化に係る取組を後押ししていきます。